

2026年度 企業・卒業生アンケート結果

<調査概要>

◆企業等アンケート

調査目的：卒業生の現状把握及び学生に求める資質・能力、学生に対する意見等を企業等より聴取し、教育活動等の改善へ反映させることを目的とする

調査対象：卒業3年後卒業生(2023.3卒業生)が在籍する企業等（71社）

有効回答数：40社（回答率56%）

調査期間：2026年7月27日～2026年8月28日

調査方法：Webアンケート

◆卒業生対象アンケート

調査目的：卒業生の現状把握及び教育活動等の改善へ反映させることを目的とする

調査対象：卒業3年後卒業生(2023.3卒業生・80名)

有効回答数：18名（回答率23%）

調査期間：2026年7月27日～2026年8月28日

調査方法：Webアンケート

<結果概要>

「規律力」「主体性」「実行力」「傾聴力」は、企業の他者評価が高く（規律力62.5%、主体性50.0%、実行力47.5%、傾聴力37.5%）、社会で活躍する本学卒業生の強みとなっている。

一方で、「課題発見力」「ストレスコントロール力」「計画力」の3項目においては、卒業生自身の自己評価や企業の求める要望に対して企業の他者評価が低く、認識の乖離がみられる。具体的には、「課題発見力」（自己評価33.3%・企業要望42.5%に対し企業評価10.0%）、「ストレスコントロール力」（自己評価44.4%・企業要望50.0%に対し企業評価20.0%）、「計画力」（自己評価33.3%・企業要望27.5%に対し企業評価15.0%）となっており、自己認識や求められる水準と実務での評価とのギャップを埋める育成・指導が今後の教育活動における課題となっている。

◆企業等アンケート

■在籍している卒業生の所属学科		
選択肢	回答数(名)	割合(%)
芸術学部・メディア映像学科	5	12.5%
芸術学部・デザイン芸術学科	3	7.5%
生命科学部・生命科学科	5	12.5%
生命科学部・生命医科学科	3	7.5%
生命科学部・健康科学科	5	12.5%
生命科学部・動物生命科学科	6	15.0%
危機管理学部・危機管理学科	13	32.5%
合計	40	100.0%

■本社所在地		
選択肢	回答数(名)	割合(%)
岡山県	21	52.5%
関東地方	8	20.0%
広島県	3	7.5%
近畿地方	3	7.5%
九州・沖縄地方	2	5.0%
香川県	1	2.5%
中部地方	1	2.5%
北海道・東北地方	1	2.5%
合計	40	100.0%

■業界・業種		
選択肢	回答数(名)	割合(%)
卸売・小売業	16	40.0%
製造業	6	15.0%
医療・福祉	3	7.5%
農林水産業	3	7.5%
情報通信業	2	5.0%
サービス業	2	5.0%
プラントメンテナンス業	2	5.0%
建設業	1	2.5%
リサイクル業	1	2.5%
動物病院・トリミングサロン・獣	1	2.5%
働き方創造提案業	1	2.5%
娯楽業	1	2.5%
研究技術サービス業	1	2.5%
合計	40	100.0%

■ 卒業生の在籍状況			【離職状況と退職時期一覧】 (離職者数: 17名)	
選択肢	回答数 (名)	割合 (%)	離職時期の回答	
在籍している	23	57.5%	2023年4月27日	
離職している	17	42.5%	2023年10月	
合計	40	100.0%	2024年2月29日	
			2024年4月	
			2024年5月	
			2024年6月	
			2024年8月	
			2026年4月	
			2026年6月	
			2026年7月20日	
			2023年5月頃	
			2023年6月頃	
			2024年	
			2024年5月頃	
			2026年3月31日付	
			2026年6月末	
			情報確認中	

■ 企業から見た「優れていると思う能力」 (12の社会人基礎力)		
社会人基礎力 (12の能力項目)	回答件数	回答率
【主体性】物事に進んで取り組むことができる	20	50.0%
【働きかけ力】他人に働きかけ巻き込むことができる	5	12.5%
【実行力】目的を設定し、確実に行動することができる	19	47.5%
【課題発見力】現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	4	10.0%
【計画力】課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備することができる	6	15.0%
【創造力】新しい価値を生み出すことができる	0	0.0%
【発信力】自分の意見を分かりやすく相手に伝えられることができる	3	7.5%
【傾聴力】相手の意見を丁寧に聴くことができる	15	37.5%
【柔軟性】意見の違いや立場の違いを理解することができる	6	15.0%
【状況把握力】自分と周囲の人々や物事との関係性を理解することができる	11	27.5%
【規律力】社会のルールや人との約束を守ることができる	25	62.5%
【ストレスコントロール力】ストレスに対して適切に対応ができる	8	20.0%

■ 企業が在学中に特に「身につけて欲しい能力」 (12の要望スキル)		
要望する社会人基礎力 (12の項目)	回答件数	要望率
【主体性】物事に進んで取り組むことができる	31	77.5%
【働きかけ力】他人に働きかけ巻き込むことができる	14	35.0%
【実行力】目的を設定し、確実行動することができる	24	60.0%
【課題発見力】現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	17	42.5%
【計画力】課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備することができる	11	27.5%
【創造力】新しい価値を生み出すことができる	8	20.0%
【発信力】自分の意見を分かりやすく相手に伝えられることができる	14	35.0%
【傾聴力】相手の意見を丁寧に聴くことができる	18	45.0%
【柔軟性】意見の違いや立場の違いを理解することができる	14	35.0%
【状況把握力】自分と周囲の人々や物事との関係性を理解することができる	11	27.5%
【規律性】社会のルールや人との約束を守ることができる	24	60.0%
【ストレスコントロール力】ストレスに対して適切に対応ができる	20	50.0%

■ 企業が在学中に特に「取り組んで欲しい内容」 (9項目)		
大学生活での活動・経験項目	回答件数	要望率
学習 (幅広い教養)	27	67.5%
学習 (専門的な学び)	12	30.0%
卒業研究・卒業制作	5	12.5%
ゼミ活動	8	20.0%
正課外活動 (クラブ・サークル等)	18	45.0%
インターンシップ・就業体験	25	62.5%
ボランティア活動	3	7.5%
資格取得	3	7.5%
友人との交流	27	67.5%

■ 卒業生に備わっている能力 (4つの教育目標・4段階数値化)						
教育目標 (4つの育成能力)	とても そう 思う (4点)	やや そう 思う (3点)	あまり そう 思わ ない	全く そう 思わ ない (1点)	平均スコ ア (4.0満点)	肯定率 (とても+ やや)
専門的な知識や技能を生かして、専門領域で活躍できる職業人としての力量	15	20	4	1	3.23	87.5%
自らが社会の一員であることを自覚し、幅広い教養と豊かな人間性を備えた、良い社会人として活躍できる力量	19	17	3	1	3.35	90.0%
地域社会の構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して活躍できる力量	13	22	4	1	3.18	87.5%
科学的な思考ができる芸術エキスパート、またはデザインセンスを備えた科学エキスパートとして活躍できる力量	8	21	10	1	2.90	72.5%

■ 採用選考時に重視する基準（4の選考基準・5段階数値化）							
選考時の重視項目	重視する (5点)	やや重視 する (4点)	どちらと も言えな い (3点)	それほど 重視しな い (2点)	重視しない (1点)	平均スコ ア (5.0満点)	重視率 (重視+やや 重視)
学力（基礎）	3	18	10	6	3	3.30	52.5%
学力（専門）	2	6	13	15	4	2.68	20.0%
職業能力の適性	14	24	2	0	0	4.30	95.0%
人物	37	2	1	0	0	4.90	97.5%

■ 今後の採用意向		
選択肢	回答数(名)	割合(%)
とてもそう思う	31	77.5%
ある程度そう思う	9	22.5%
合計	40	100.0%

■ 本学に期待すること
(より社会で活躍できる人材を育成する上での取組・期待する人材像・自由意見)

本学に期待すること・自由意見
言語化能力(自分の考えを整理し、分かりやすく相手に伝えることが出来る能力)の向上
本年度も採用継続していますので、就活中の学生さんいらっしゃいましたらご紹介いただけると幸いです。
新しい学びを大切にし、自分を向上させる意欲がある人材を採用していきたいと考えます。貴校は新しいカリキュラムをとり入れ、自己向上心を育む教育であると感じます。これからもよろしくお願いいたします。
〇〇さんのような明るく前向きで素直な方をぜひお待ちしております。
当院では、中途より新卒採用をすることが多いです。社会的で、コミュニケーション能力があり素直な人材であれば、当院に合った職員に教育いたします。国家試験に対応できる基礎的な教育は必要ですが、それ以上にその時期にしか経験できないサークルやボランティア活動等を通じて、人間として魅力あふれる人材を育てていただければ幸いです。また、臨床検査技師国家試験の合格率が高ければ、安心して内定を出すことが出来ますので、その点はよろしくおねがいいたします。
経験を積んで技術を身に付けていく仕事なので忍耐力を求めています。
最近の学生についてコミュニケーション力の低下が感じられます。中高校生時代にコロナ禍による影響もあると思いますが、他者との接し方を柔軟に対応できるようになれば社会人になってさらに活躍できる人材になると思います。
経験を積んで技術を身に付ける仕事なので忍耐強さを求めています。
今回の対象者が卒業後3年以内で退職する結果となりましたことは、当社として大変残念に感じております。一方で、ご本人には実現したい夢や目標があり、その意思を尊重し、新たな挑戦を応援する形で退職となりました。今後は貴学との連携を大切に、学生の皆様が社会で長く活躍できるよう、ともに取り組んでまいりたいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。
専門性も大切ですが、企業としてはチーム力を尊重する点が大きくありますので、会話力・傾聴力・コミュニケーション能力などの、対人能力はどの業界でも重要かと存じます。

◆卒業生アンケート

■出身学部・研究科

選択肢	回答数(名)	割合(%)
芸術学部・メディア映像学科	2	11.1%
芸術学部・デザイン芸術学科	2	11.1%
生命科学部・生命科学科	3	16.7%
生命科学部・生命医科学科	1	5.6%
生命科学部・健康科学科	3	16.7%
生命科学部・動物生命科学科	3	16.7%
危機管理学部・危機管理学科	4	22.2%
合計	18	100.0%

■現在の業種

選択肢	回答数(名)	割合(%)
卸売・小売業	7	38.9%
製造業	4	22.2%
情報通信業	2	11.1%
サービス業	2	11.1%
医療・福祉	1	5.6%
農林水産業	1	5.6%
教育・学習支援業	1	5.6%
合計	18	100.0%

■現在の職種

選択肢	回答数(名)	割合(%)
その他の技術専門職	8	44.4%
営業職	4	22.2%
医療系技術専門職 (臨床検査技師・臨床工学技士・愛玩動物看護師など)	2	11.1%
事務職	2	11.1%
管理職・マネージャー	1	5.6%
販売職	1	5.6%
合計	18	100.0%

■卒業生が「特に優れている」と自負する能力(12の社会人基礎力)

能力項目(12の社会人基礎力)	「特に優れている」 回答数	自己評価率(%)
【主体性】物事に進んで取り組むことができる]	3	16.7%
【働きかけ力】他人に働きかけ巻き込むことができる]	2	11.1%
【実行力】目的を設定し、確実に行動することができる]	4	22.2%
【課題発見力】現状を分析し、目的や課題を明らかにする]	6	33.3%
【計画力】課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、	6	33.3%
【創造力】新しい価値を生み出すことができる]	1	5.6%
【発信力】自分の意見を分かりやすく相手に伝えられる]	3	16.7%
【傾聴力】相手の意見を丁寧に聴くことができる]	8	44.4%
【柔軟性】意見の違いや立場の違いを理解することができる]	4	22.2%
【状況把握力】自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する]	5	27.8%
【規律力】社会のルールや人との約束を守ることができる]	8	44.4%
【ストレスコントロール力】ストレスに対して適切に対処する]	8	44.4%

■大学の4つの教育目標：自己評価(卒業時の能力)					
教育目標能力	とても そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	ま った く そ う 思 わ ない	肯定率(%)
専門的知識や技能を生かして、専門領域で活躍できる職業人としての力量	2	9	2	5	61.1%
社会の一員であることを自覚し、幅広い教養と豊かな人間性を備えた社会人としての力量	1	9	3	5	55.6%
地域社会の構成員として、まちづくりや文化活動等の分野で率先して貢献できる力量	1	5	6	6	33.3%
科学的な思考ができる芸術エキスパート、またはデザインセンスを備えた科学エキスパートとしての力	0	4	7	7	22.2%

■大学生活で役立ったこと(経験・活動の自己評価)					
大学での活動・経験	とても役 立ってい る	ある程度 役立って いる	あまり役 立ってい ない	ま った く 役 立 て ない	役立ち率 (%)
学習(幅広い教養)	4	7	3	4	61.1%
学習(専門的な学び)	3	9	1	5	66.7%
卒業研究・卒業制作	1	9	3	5	55.6%
ゼミ活動	2	9	2	5	61.1%
正課外活動(クラブ・サークル等)	0	9	2	7	50.0%
インターンシップ・就業体験	1	7	3	7	44.4%
ボランティア活動	0	8	5	5	44.4%
資格取得	2	6	3	7	44.4%
友人との交流	5	10	0	3	83.3%

■自己の成長実感度		
選択肢	回答数(名)	割合(%)
ある程度実感する	9	50.0%
どちらでもない	6	33.3%
まったく実感しない	2	11.1%
あまり実感しない	1	5.6%
合計	18	100.0%

■卒業生からの後輩へのアドバイス

後輩へのアドバイス

当たり前前に感謝する事。食事と睡眠、適度な運動、健康は何よりも大切にする事。遊びでも勉強でも熱中出来るモノを探す事。必ず挑戦して、失敗を経験する事。ダメになりそうな時は1人で抱え込まない事。それが一番大事

面接が1番重要視されていると感じるので、対面での練習を頑張ってください。

一緒に頑張りましょう。

自己分析をしておくといいと思います。自分の強み弱みを把握しておくことで就職活動だけでなく、働いていく中でも役立つと思います。

早い段階で情報収集・行動をすると良いと思います。